

国立アイヌ民族博物館 ①

1 博物館の展示と学校団体向けプログラム



延床面積 約8,600㎡
基本展示室 約1,250㎡
特別・テーマ展示室 約1,000㎡

- 先住民族アイヌの歴史と文化を主題とした日本最北の国立博物館
- 「ウポポイ(民族共生象徴空間)」の中核区域の施設として、北海道白老町に令和2年7月に開館

■ 展示

基本展示

:アイヌの人々の視点で、アイヌの歴史・文化を紹介。基本展示室内にある探究展示 テンパテンパは、楽しみながらアイヌ文化にふれることができるコーナーです。

特別展示・テーマ展示

:最新の調査研究成果等に基づいた様々な切り口の展示を一定期間ごとに紹介します。令和8年度は「博覧会」「衣服」をテーマとした展示を予定。



学校教育との連携

■ 博物館の教育プログラム

「アプカシ」

学校団体を対象とした、学習活動用の様々なプログラムを、博物館内やオンライン上で提供しています。

国立アイヌ民族博物館 教育プログラム

アプカシ apkas



博物館で体験・利用できること



教員のための博物館の日
at 国立アイヌ民族博物館



はじめてのアイヌ博(学校団体)

ここでは、アイヌ民族の歴史・文化に関する基本的なお話や、初めてアイヌ博を訪れた方へ見どころを分かりやすく説明します。展示室の理解を深める事前学習にもおすすめです。【要予約】

教員のための博物館の日 at 国立アイヌ民族博物館

ご参加いただいた教員向けに、学校教育におけるアイヌ博の効果的な活用やアイヌ文化を体験するワークショップを行っています。

対面とオンラインの併用で、令和8年度は冬休み中(1月)に実施を予定しています。【要予約】

ワークシートの設置

基本展示室内の展示資料や動物、アイヌ語などについてのワークシートを館内に設置しています。ぜひご活用ください。(ウェブ上でも公開しています)

校内で体験・利用できること

教育旅行のためのオンライン事前授業(学校団体)

実際に博物館を訪れる前の事前学習として、博物館と各学校をオンラインで接続し、アイヌ民族の歴史・文化に関する初歩的なお話などを職員が説明します。教育旅行当日のスムーズな学習・体験への寄与が期待できます。【要予約】

アイヌ民族の学習に関する動画教材・学習指導案・授業事例等の配信・配布

オンライン上で、学習指導要領に則った動画教材や指導案などを配信・配布しています。児童・生徒の学習状況に合わせてご活用いただくことも可能です。



詳しくは、下記URLの教育プログラム「アプカシ」をご覧ください。

https://ainu-upopoy.go.jp/education/museum_education/



国立アイヌ民族博物館 ②

2 博物館の新たな役割を担うために

社会教育施設としての役割

● 専門職員と来館者との相互交流による解説等の実施

- ・ホリデーイベント、ギャラリートーク、講演会などの実施を通じて、専門職員と来館者との相互交流による社会教育活動を実施しています。



毛皮イベントの様子

● 連続講座「ウポポイ大学」の開講

- ・2026（令和8）年4月から新たに、「アイヌ民族の歴史と文化」と「当館の展示等に対する理解を深めること」を目的とした座学形式の講座「ウポポイ大学」を開講します。
- ・令和8年度は14回の開催を予定しています。受講は対面のみですが、興味のあるテーマだけの受講も可能です。
- ・詳しくは下記のURLをご覧ください。

<https://ainu-upopoy.go.jp/event/upopoy-univ-r8/>

● 博物館人材の育成

- ・アイヌの歴史・文化に関する知識を持つ次世代の専門家を育成しています。

- ◆学校団体予約（団体予約受付センターお問い合わせ）
Mail: group@ainu-upopoy.jp
Tel: 平日011-798-0901 土日祝0144-84-6534（受付時間9:00～17:00）
★26ヶ月先の予約受付が可能になりました！

様々な課題に対応する役割

● 共生社会実現に向けた取組

- ・自然と調和してきたアイヌの人々の精神世界をはじめ、アイヌの歴史・文化等を国内外に発信しています。
- ・「私たちの～」という切り口で、アイヌの人々の視点で語る基本展示が特徴です。

● 文化の継承と創造

- ・国内外のアイヌ関連施設のネットワーク拠点となり、情報を共有しています。
- ・共同研究やアイヌ資料の保存技術、修復技術等の向上のための研修を行っています。

● アイヌ語の復興

- ・館内の第一言語をアイヌ語に設定し、解説文を始め館内のあらゆるサインにアイヌ語を使用しています。
- ・音声ガイドやアプリによりアイヌ語の解説を聞くことも可能です。



館内サインの例
（アシムル：化粧室）



館内で貸し出ししている音声ガイド

文化資源としての役割

● ここにしかない体験の提供

- ・アイヌをテーマとした唯一の国立博物館
- ・様々な体験プログラムが用意されたフィールド（公園）との相乗効果で、アイヌ文化の多彩な魅力を体感できます。
- ・自然豊かなロケーションとポロト湖を眺望できる2階パノラミックロビーからの風景もお楽しみいただけます。



・【伝統芸能上演鑑賞】

伝統的な歌や踊り、楽器演奏等を最新映像技術と組み合わせた演出により、アイヌの世界観を体感できます。

・【アイヌ料理食体験】

アイヌの食材や調理法についての解説とともに、実際に料理を味わい、暮らしの知恵を学ぶことができます。

● 地域性を考慮した多言語対応

- ・アイヌ語に加え、ロシア語、タイ語を含めた最大8言語に対応した館内表示・音声ガイドを用意しています。

※8言語・・・アイヌ語、日本語、英語、中国語〈簡体字・繁体字〉、韓国語、ロシア語、タイ語

国立民族共生公園では、上記記載の「伝統芸能上演鑑賞」「アイヌ料理食体験」の他にもプログラムを用意しています。詳しくはウポポイHP「教育プログラム」をご覧ください。

<https://ainu-upopoy.go.jp/education/program/>

